

教師が「話す」授業から 教師が「みる」「きく」「つなぐ」授業へ

「学びの变革」通信

福島県教育庁
いわき教育事務所
学校教育課
No.16 R8.8.17

令和8年度 授業改善グランドデザイン

令和8年8月5日付けで「令和8年度授業改善グランドデザイン」が義務教育課ホームページに公開されました。

義務教育課ホームページ

URL : <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70056a>

これまでと同様に、「教師が『話す』授業から、教師が『みる』『きく』『つなぐ』授業へ」が、本県の目指す授業とすることが再確認されています。

また、各教科の結果の概要を見ると、令和7年度は「福島県全体で取り組みたい課題と指導の重点（p8等）」となっていた項目が、令和8年度には「『学びの变革』に向けて ～教科の特質に応じた見方・考え方を働かせて～（p6等）」に変更になっております。**教師側の指導の視点から児童生徒の学び手の視点に変更**になっていることが伝わってきます。

ぜひ、「令和8年度授業改善グランドデザイン」を一読し、児童生徒が自走する学び手になるよう、各学校の取組を充実させてください。

事務所としても、授業改善に努める学校に伴走して参ります。

- (1) 学力向上支援アドバイザー事業（令和8年4月17日付け8教義第206号）
- (2) 算数・数学授業づくり訪問（令和8年4月14日付け8教義第169号）
- (3) 学校・教職員のニーズに応える要請訪問（令和8年4月22日付け8教い号外）

理科実験講座

7月15日（水）にアクアマリンふくしまを研修会場として、理科実験講座が行われました。

研修前半では、講話「東日本大震災と環境問題への取組」と題して、東日本大震災当日の様子や復興までの取組を写真や動画を基に振り返りました。復興のシンボルとして立ち上がろうとする職員の思いに触れることで、震災を知らない世代である児童生徒に対しても「福島で生きる誇り」をもってほしいという思いを高める研修者の姿がありました。

後半は、実験実技研修として、魚を解剖して食べる体験をしました。生き物の体のつくりを学ぶとともに、私たちは命をいただいて生きているということを体験を通して感じる研修者が多く見られました。

【研修者の感想より】

魚（アジ）の解剖を初めて体験し、魚の体のつくりを詳しく知ることができた。この「**初めての感覚**」は、**児童の目線に立った指導や安全・衛生面での配慮を考える上で大変貴重な学び**となった。初めてだからこそ感じる緊張感や手順の難しさを実感し、効果的な指導手順の工夫について考える機会となった。

中学理科では、2年生で動物のからだのつくりとはたらきについて、3年生では生態系や環境問題について学習する。今回の研修を通して、**身近なところでも様々な問題が起こっていることを子ども達自身に自分事として捉えさせ**、主体的に学習に臨めるような授業内容を工夫していきたいと感じた。

お忘れですか？研修申込受付中です！

イノベーション教育推進人材育成教員による算数・数学科授業研究会の**参加受付中**です。

中学校：令和8年 9月 4日（金）藤間中学校

小学校：令和8年 9月17日（木）好間第一小学校

「教師が『話す』授業から、教師が『みる』『きく』『つなぐ』授業」について、子どもの姿を通して、語り合いませんか？

令和8年度 授業改善グランドデザイン 「学びの变革推進プラン」 施策1の推進に向けて 全国学力・学習状況調査の結果分析と学力向上の方策	
1 本県の目指す授業と授業改善グランドデザインの役割	P1
2 全国学力・学習状況調査の結果の概要	P2
3 質問調査の結果に見るふくしまの強みと課題	P3～4
4 各教科の結果の概要	P5～14
5 授業改善のための情報・ツール集	P15
令和8年8月 福島県教育庁義務教育課	

